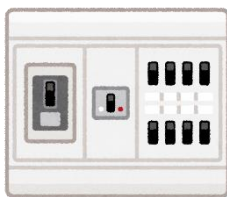


口径別料金制度ってなんですか？

水道メーターの口径の大きさに料金が変わってくる制度です。



電気料金のアンペアに似てるね

水道の管や施設は、みなさんが使う水の量に合わせて大きさが決まります。大きくなるほど、その分つくったり直したりするのにお金がかかります。

水を多く使う工場などの会社にその分を負担してもらうために、水道メーターの口径が大きいほど、料金が高くなるのが口径別料金制度です。

20mm口径



家庭

150mm口径



工場

水道メーターの口径ってなんですか？

水道メーターを通る管の大きさです。水道メーターの口径は、使う水の量で大きさが決まります。

水道メーターはこんな形をしています。料金を請求するために、使った水の量を測っています。



水道メーターの口径は、13mmから300mmまで11種類あります。一般の家庭で使われているのは20mmで、市内では数が一番多いです。

水道メーターの口径
大規模工場で使用するような口径
200mm(左)と一般家庭の口径20mm
(右)です。

口径200mmでかっ！



なぜ口径別料金制度に移行した方が 良いのですか？

水道の管や施設が大きくなった分を負担してもらうのに、水道メーターの口径は基準が分かりやすく公平なのが利点です。

しかしながら、いまは単一料金体系で水道メーターの口径の大きさに料金が変わらないので、不公平が生じているからです。

大都市で口径別料金制度じゃないの
私たちだけですって！

川崎市



うそやん！？

大阪市



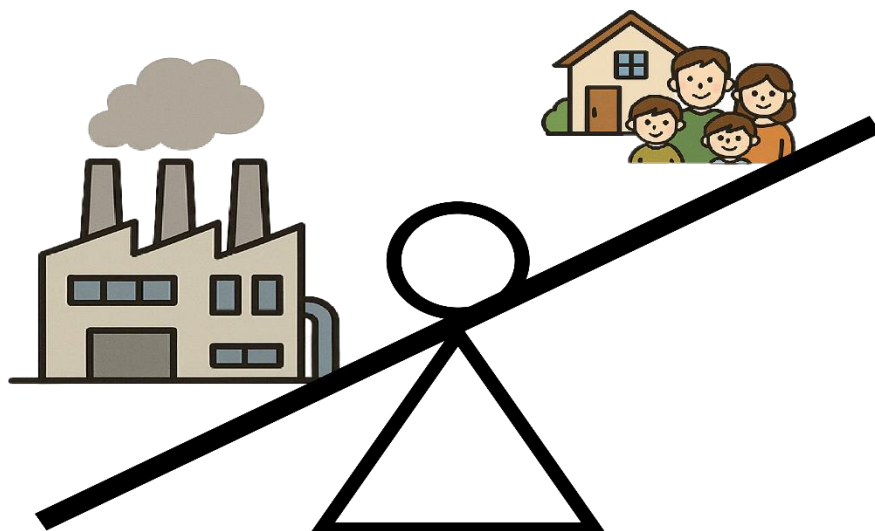
^{ていぞうど}逓増度（^{るいしんど}累進度）ってなんですか？

水道料金と下水道使用料は、使えば使うほど単価が高くなります。

一番高い単価と低い単価の差の大きさを^{ていぞうど}逓増度（下水道使用料は^{るいしんど}累進度）といいます。

これは、たくさん水を使う大きな会社などが、供給・排水できる量以上に使わないよう、使う水を抑えたり、あまり水を使わない一般の家庭の水道料金や下水道使用料が上がりすぎないようにしたりするためです。

ちなみに、川崎市の水道の^{ていぞうど}逓増度は大都市の中で1位、下水道の^{るいしんど}累進度は2位と、かなり高くなっています。一番高い単価は低い単価の約5倍（下水道使用料は約7倍）です。



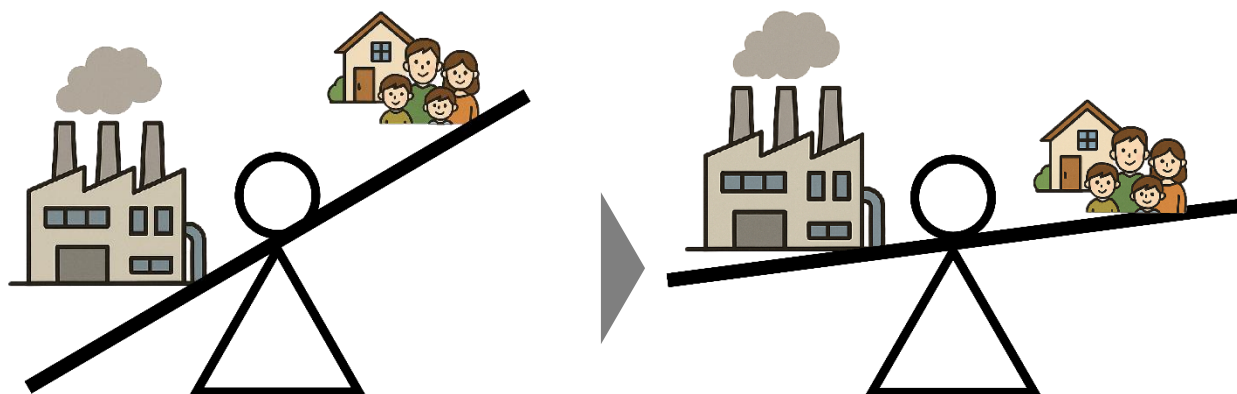
なぜ^{ていぞうど}逡増度（^{るいしんど}累進度）を下げた方が 良いのですか？

高度経済成長期に急速に増えたたくさん水を使う大きな会社などが今は減り、節水も進んだので、使う水が減ってしまっています。

ちなみに、1か月に使う水は、1人暮らしだと 10m^3 にも届きませんが、大きな会社などでは 1万m^3 というところもあります。

^{ていぞうど}逡増度（^{るいしんど}累進度）が高いので、使う水が減っている大きな会社などからの収入にかなり頼っている状態になっていることもあり、収入が減少傾向にあります。

そこで、^{ていぞうど}逡増度（^{るいしんど}累進度）を下げ、みなさんの負担のバランスをとり、収入を安定させる必要があります。



基本水量制ってなんですか？

基本水量制というのは、使う水の量が、ここまでなら同じ料金で安くしますよ、という制度です。

ちなみに、川崎市の基本水量は1月 8m^3 です。これはだいたい一人暮らしの人が使う量です。

いまは 8m^3 までは一律530円です。

昔、まだ水道や下水道が普及していなかった時代は、清潔な水にアクセスできないため、感染症が大流行することがありました。公衆衛生の向上は、水道や下水道の大事な目的でした。

新しく水道や下水道を使うには、道路から管を引く工事をしなければいけませんが、お金がかかります。そこで、一定の水量までの料金を安く、同じにして、なるべく水道や下水道を普及させようとなりました。



何とか
水道と下水道を
普及させないと



なぜ基本水量の廃止（引下げ）をした方が良いのですか？

水道や下水道は普及率が100%近くになり、誰もが当たり前前に使えるようになりました。

公衆衛生の向上という目的も達成された今では、もうその役目を果たしたということです。

さらに、基本水量以下の人は、全体の約4割（件数ベース）にものぼり、そうした人においては、節水しても料金が同じなので不公平が生じているからです。

